

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 5 区分  
 【発行日】平成 24 年 10 月 25 日 (2012.10.25)

【公開番号】特開 2011-111686 (P2011-111686A)  
 【公開日】平成 23 年 6 月 9 日 (2011.6.9)  
 【年通号数】公開・登録公報 2011-023  
 【出願番号】特願 2009-266504 (P2009-266504)  
 【国際特許分類】

D 0 1 D 5/08 (2006.01)

D 0 4 H 1/4382 (2012.01)

D 0 4 H 1/736 (2012.01)

【F I】

D 0 1 D 5/08 C

D 0 4 H 1/42 X

D 0 4 H 1/72 B

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 9 月 6 日 (2012.9.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

加熱溶融したポリマーの紡糸液を吐出できる液吐出部を 1 箇所以上と、前記いずれの液吐出部よりも上流側に位置し、加熱ガスを吐出できるガス吐出部 1 箇所とを有する、次の条件を満足する紡糸装置。

(1) 液吐出部を端部とする液用柱状中空部 (H l) を有する

(2) ガス吐出部を端部とするガス用柱状中空部 (H g) を有する

(3) 液用柱状中空部 (H l) を延長した液仮想柱状部 (H v l) とガス用柱状中空部 (H g) を延長したガス仮想柱状部 (H v g) とは近接している

(4) 液用柱状中空部 (H l) の吐出方向中心軸とガス用柱状中空部 (H g) の吐出方向中心軸とが平行である

(5) ガス用柱状中空部 (H g) の中心軸に対して垂直な平面で切断した時に、ガス用柱状中空部 (H g) の切断面の外周と液用柱状中空部 (H l) の切断面の外周との距離が最も短い直線を、1 本だけ引くことができる

【請求項 2】

請求項 1 に記載の紡糸装置に加えて、繊維の捕集体を備えている不織布製造装置。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の不織布製造装置を用いる不織布の製造方法。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の製造方法により製造した不織布。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

本発明の請求項 2 にかかる発明は、「請求項 1 に記載の紡糸装置に加えて、繊維の捕集体を備えている不織布製造装置。」である。